
令和6年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月7日

質問者（質問順）

- 1 古谷靖彦 委員（共産党）
- 2 おさかべ さやか 委員（自民党）
- 3 福地 茂 委員（自民党）
- 4 行田朝仁 委員（公明党）
- 5 森 ひろたか 委員（立憲党）
- 6 柏原 すぐる 委員（維新会）
- 7 鈴木 太郎 委員（自民党）
- 8 こがゆ 康弘 委員（民主フ）
- 9 大山 しょうじ 委員（大山）

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)

1 災害に備えた体育館機能の強化について

- (1) 学校の建て替え時における、具体的な地域防災拠点機能の考慮点について伺いたい。
- (2) 学校の建て替え時には、予め避難所として必要な諸機能を備えておくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 地域防災拠点の体育館の冷暖房設置を早めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 災害はいつ起こるかわからないという視点で、設置を早めるような検討をしていただきたい。
- (4) 地域防災拠点となる小・中学校における停電時の体育館の機能について伺いたい。
- (5) 地域防災拠点のW i - F i 機能について伺いたい。
- (6) 停電時のW i - F i 機能について伺いたい。
- (7) 地域防災拠点の給食施設の活用実績及び訓練実績の有無について伺いたい。
- (要望) 市長部局とも連携して、給食施設の活用や訓練の実施について検討いただきたい。
- (8) 全国の実践事例を学び、学校の建て替えの方針の中で位置づけられるように調整を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 おさかべ さやか 委員（自民党）

1 家庭と学校の連絡システムについて

（1）連絡システム導入の概要について伺いたい。

（2）連絡システムを統一することによる効果について伺いたい。

（要望）横浜市で行われている良い取組を保護者が知る機会が少ないと感じているので、連絡システム導入後は、より活用を進めていただきたい。

（3）今後の活用方法について伺いたい。

2 国際理解教育の推進について

（1）国際理解教室の現状と課題について伺いたい。

（2）国際理解教室の今後の取組について伺いたい。

（意見）横浜市が誇れる素晴らしい取組だと思うので、より一層発信していくべき。

3 学校図書館について

（1）蔵書数が国の基準を満たせていない理由について伺いたい。

（2）図書費増額分の学校への配当の考え方について伺いたい。

（3）図書標準100%達成に向けて取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

（4）連絡システムなどで学校図書についての情報を発信し、家庭での読書の機会につなげていただきたいと考えるが、見解を伺いたい。

4 不登校児童生徒等への健康診断について

（1）健康診断の未検査者数の捉えについて伺いたい。

（2）不登校児童生徒等への健康診断のお知らせの状況について伺いたい。

（3）増加している不登校児童生徒等について、学校外での健康診断の機会も検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 特別支援教室実践推進校について

（1）実践推進校の数の推移について伺いたい。

- (2) 実践推進校の拡充による効果と狙いについて伺いたい。
- (3) 現場のニーズを踏まえ、小中学校全校の特別支援教室に非常勤講師等を配置すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 今後、確実に非常勤講師を全校に配置し、配置時間も延ばしていただきたい。

6 性に関する指導及び生命の安全教育の推進について

- (1) 市立学校でプライベートゾーンの話や妊娠や出産した後の状態を教えていくべきと考えるが、現状について伺いたい。
- (2) 指導資料の改定にプライベートゾーンの話や妊娠及び出産した後の状態などの内容を盛り込むべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 非認知能力の調査研究について

- (1) 非認知能力の調査研究の内容について伺いたい。
- (2) 研究結果の生かし方について伺いたい。
- (3) 非認知能力について重要だと考えるから研究に取り組んでいるのか伺いたい。
- (4) 非認知能力について現場の教員に教えられるようにしてほしいと考えているがどのように取り組んでいくのか伺いたい。

1 働き方改革の推進について

（１）教職員の働き方改革の意義・目的について伺いたい。

（意見）質の高い教育を実現していくには、教職員が本来業務に専念し、やりがいを持って働くことができる環境を整えていく必要がある。

（２）日課を工夫するなど、教職員の裁量ある時間を生み出すための取組をさらに推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 マーチングバンドに対する支援について

（１）現在のマーチングバンドへの支援の状況について伺いたい。

（２）今後の支援の方向性について伺いたい。

（要望）マーチングバンド活動は、子供たちの成長、活躍の場だけではなく、横浜の音楽文化の醸成、地域の活性化にもつながっており、引き続きの支援を要望する。

3 学校施設の改修について

（１）小中学校の仮設校舎数について伺いたい。

（２）使用している仮設校舎の設置後の経過年数について伺いたい。

（３）仮設校舎における夏の暑さ対策への取組について伺いたい。

（要望）例に挙げた太尾小学校だけでなく、各区の仮設校舎についても対策をお願いしたい。

4 通学路のバリアフリーについて

（１）通学路の設定の仕方について伺いたい。

（２）バリアフリーの観点から、通学路としての指定を柔軟に対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。

（３）車椅子の児童がいた場合の対応について伺いたい。

5 文化財保存活用地域計画について

(1) 計画策定の狙いについて伺いたい。

(2) 計画の周知方法について伺いたい。

(意見) それぞれの地域でつながり合いながら、継承していけるよう、今後の取組の充実を期待する。

6 学校図書館への電子書籍の導入について

(1) 大規模校における学校図書館図書整備状況について伺いたい。

(2) 物理的な制約により図書標準の達成が難しい場合には、電子書籍の導入も検討してみてはどうかと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 国が定める図書標準もあると思うが、子供達の読書機会の充実に向けて、紙の本だけではなく、電子書籍の導入についてもお願いしたい。

7 日教組の教研集会における教員の発表について

(1) 教研集会で汚染水の言葉を用いた発表について確認した内容について伺いたい。

(2) 実際の授業内容について把握しているか伺いたい。

(3) 実際の授業内容とその評価について伺いたい。

(4) 今回の件に関する受け止めと対応について伺いたい。

(要望) 今後このようなことが起こらないよう再発防止の取組をお願いしたい。

8 誰もが安心して豊かに生活できる学校を目指した取組について

(1) 市立小中学校における暴力行為の現状と受け止めについて伺いたい。

(2) 暴力行為の防止に向けた取組について伺いたい。

(要望) 他都市の取り組み事例も参考にしながら、引き続き、暴力行為のない安心な学校づくりに向け、きめ細かな対応を進めていただきたい。また、暴力行為は子供たちのSOSの表れだと思うので、外部の関係機関等とも連携して対処するなど、暴力行為に及んだ子供が社会的に排除されたり、追い詰められたり、孤立したりすることがないようにしていただきたい。

(3) 児童生徒の自殺防止の取組について伺いたい。

(要望) 自殺のない社会を目指して、学校教育でもより一層の取組の推進をお願いする。

(4) 自殺が起きた際の周囲の児童生徒に対する支援について伺いたい。

(要望) 教職員へのサポートについても充実していただくよう要望する。

4 行 田 朝 仁 委 員（公明党）

1 働き方改革（職場環境の改善）について

- (1) 職員室業務アシスタントの業務内容を国の例に合わせて明確にすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 職員室業務アシスタントに、さらに活躍してもらうための取組について伺いたい。
- (3) 本市で想定している副校長サポートの業務内容について伺いたい。
- (4) 副校長サポートを担う人材のイメージと待遇について伺いたい。
- (5) 副校長サポートをはじめとする教員の働き方改革に資する予算はしっかりと確保すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 横浜の未来を担う子供たちのために、より良い教育をしていくためにも、改めて予算の拡充を要望する。
- (6) 横浜市立学校フレックスタイム制度の利用状況について伺いたい。
- (7) 障害のある子供を持つ教職員が利用可能な休暇制度について伺いたい。
- (意見) 地方公務員の休暇制度は、法に基づき、国や他の地方公共団体との均衡と
いった一定の制約があるが、付与日数や対象年齢の拡大など、地方自治体
独自でできることはあると思う。
- (8) 障害のある子供を持つ教職員の休暇制度を拡充すべきと考えるが、見解を伺
いたい。
- (要望) 優秀な教職員が安心して働き続けるための環境整備として、休暇制度の拡充
に、積極的に取り組むことを要望する。
- (9) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度における給付金の概要と支給の
流れについて伺いたい。
- (10) 学校で給付金を取り扱うことの認識について伺いたい。
- (要望) 現金を取り扱うことに伴う、様々なリスクを勘案し、より便利で効率的な
方法で支給されることを要望する。
- (11) 保護者への給付金の振込を教育委員会で行うべきと考えるが、見解を伺いた
い。

(要望) 給付金に係る事務について検討を行い、少しでも学校現場の負担が軽減されることを要望する。

2 学校図書館への新聞配備について

(1) 本市における新聞の教材としての位置づけについて伺いたい。

(2) 学校図書館への新聞配備の状況について伺いたい。

(3) 国の計画等を踏まえたこれまでの取組について伺いたい。

(4) 教育委員会が一括して新聞の契約を行えば、学校図書館への新聞配備を計画通り進めることができ、事務負担も軽減されるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。

(5) 学校図書館への新聞配備の目標達成に向け、市全体として後押しすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 学校図書館に新聞を活用した学習を行うための環境を早急に整備していただくことを要望する。

3 教員の採用試験について

(1) 指導案で受験する受験者の負担軽減のために、他都市のように、資料の持ち込みを認めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 指導案による特別選考が、より多くの人が受験しやすくなるように工夫すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 優秀な人材を採用できるよう、引き続き、多様な声に耳を傾けながら、最適な手法の検討をお願いしたい。

4 不登校児童生徒支援について

(1) 令和5年度の不登校支援事業の取組状況について伺いたい。

(2) 校内ハートフル事業を拡充していく上での課題について伺いたい。

(要望) 課題を的確に捉え人権確保を基盤に改善に取り組んでいただきたい。

(3) 校内ハートフルの全校実施を一刻も早く進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 校内ハートフルの全校実施に向け、しっかりとした予算措置を要望する。

5 教育環境の整備について

(1) これまでの市立学校におけるエレベーター設置校数と設置割合について伺いたい。

(2) 市立学校におけるエレベーター設置について、バリアフリー化を加速し、早期に整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 全校整備完了を目指し、エレベーター設置の加速を重ねて要望する。

(3) 令和6年度に実施する給食室空調整備モデル検証事業の狙いについて伺いたい。

(4) 給食室空調整備が行われるまでの暑さ対策の取組について伺いたい。

(要望) 現場の声を大事にしながら、事故が無いよう取り組むことを要望する。

6 中学校給食について

(1) 無償提供を就学援助等対象者まで拡充した目的について伺いたい。

(2) 中学校へ学校給食法の給食を導入するに当たっての狙い及び当時の思いについて伺いたい。

(3) デリバリー方式による中学校給食を選択した意義について伺いたい。

(4) 令和8年度の全員給食の実施に向けた思いについて伺いたい。

(要望) 令和8年度からの全員給食を必ず成功させるという強い決意をもって、生徒や保護者に喜ばれる給食の提供に向けて、着実に取り組んでいただくことを強く要望する。

1 中学校給食について

- (1) 中学校給食推進校における汁物食缶の試行状況について伺いたい。
 - (2) 汁物食缶の全校展開に向けて学校ごとの課題に対応していく必要があると考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) 全員給食の実施に向けて、学校現場の負担を極力少なくする運用を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 実際に給食を食べる方々の声が一番大切である。運用に向けて学校現場は大変忙しい状況にある。こうした声をしっかりと受け止めて聞いていただき、よりよい運用方法を見出していただきたい。

2 教職員へのICT環境の整備について

- (1) 教職員への1人1台端末の整備状況について伺いたい。
 - (2) 現段階では教職員には不足している端末は無いという認識でよいか伺いたい。
 - (3) 全ての教職員に1人1台端末を整備してはどうかと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 学校内には、Wi-Fiの環境が整っている。せつかくの環境を、授業だけではなく、授業準備やテストの採点、さまざまな用途で使えれば、教職員の働きやすさに繋がると思う。端末の整備について検討いただきたい。
- (4) 次世代の校務DXに向けた環境整備への考えについて伺いたい。

3 ICT支援員の活用について

- (1) ICT支援員の資格条件について伺いたい。
- (意見) 学校に派遣する前に社内で研修を行い、一定のスキルや知識を身につけていただくことが必須だと思う。徹底した研修ののちに派遣いただきたい。
- (2) 4月からきちんとICT支援員を派遣し、学校負担を軽減すべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 教職員の働き方について

(1) 特別支援教育の推進について教育委員会は学校の実態を把握した上で、特別支援学校の教員の働き方について、学校現場と議論を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 学校現場としっかり情報を共有して、今後の対応策について検討いただきたい。

(2) CO2モニター設置の成果と課題について伺いたい。

(要望) 学校現場と教育委員会の運用についての捉え方に齟齬があると思う。学校現場に状況をヒアリングしていただき、今後の対応策についてしっかりと検討していただきたい。

(3) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度について、給付金を現金支給している学校数など現状の把握と今後に向けた取組について伺いたい。

(要望) 事務処理センターを作るのか、業務委託をするのか対応策は様々かと思うが、働き方改革の面からも早急に対応いただきたい。

(4) 副校長マネジメント支援員配置事業について、配置に関する懸念事項への対応について伺いたい。

(要望) 最大のポイントは人材の見極めだと思うので、一過性の事業で終わることのないよう全校配置に向け、取り組んでいただきたい。

5 不登校児童生徒支援事業について

(1) 不登校になる前の支援について伺いたい。

(意見) 学校に行かなくなっただけからの支援に目が行きがちだが、続けて休む前の支援も大変重要である。

(2) 不登校児童生徒支援事業の課題と対応について伺いたい。

(要望) 学校や地域とのつながりが途絶え、苦しい思いを持つ子供に対する重層的な支援を展開していただきたい。

6 学校・地域連携推進事業について

- (1) 地域学校協働本部の実態の把握状況について伺いたい。
- (2) 予算拡充についての考え方について伺いたい。
- (3) 地域学校協働本部と学校が活動内容を共有し、連携できる場を創出すべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 学校施設の計画的な建て替え 学校施設のより良い教育環境について

- (1) 個別支援学級など、的確に児童数を把握して設計に反映しているか伺いたい。
(要望) 様々な教育ニーズによって児童数の変動に対応できない場合、個別級で一つの教室を間仕切らなければならない際には、音に敏感な児童が平等な教育を受けられるよう、隙間のない間仕切りの設計施工をお願いしたい。
- (2) 内部改修でエレベーター整備を行う場合、個別支援学級や国際教室などの必要性や動向を加味して整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。

8 峯小学校コミュニティハウスについて

- (1) 峯小学校コミュニティハウスの教室化に伴う今後の方針について伺いたい。
- (2) コミュニティハウスを移設するまでの移行期間の対応について伺いたい。
(要望) 移行期間の活動場所の確保は最大のポイントだと思うので、区役所とも連携をとって対応していただきたい。
- (3) 峯小学校と親和性のある団体への対応について伺いたい。
(要望) 団体のニーズを捉え、円滑な機能移管を強く要望する。

9 図書館ビジョン推進費について

- (1) 再整備構想等の策定に向けた図書館の整備の考え方について伺いたい。
- (2) 再整備によらない、市民が本に触れられる環境の充実について伺いたい。
- (3) 図書館ビジョンの実現に向けた決意について伺いたい。

1 月 80 時間超の長時間勤務を行う教員の固定化と対応について

- (1) 長時間勤務教職員の年度比較とその受け止めについて伺いたい。
- (2) 中期計画で定める 2 か月連続で時間外在校等時間が月 80 時間超の教職員数 0 人の達成に向けた課題認識と令和 6 年度予算の状況について伺いたい。

2 特別支援教育支援員の役割と待遇改善について

- (1) 特別支援教育支援員の役割とニーズについて伺いたい。
 - (2) 事業を継続する上での課題について伺いたい。
 - (3) 持続可能な事業となるよう、引き続き待遇改善に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 謝金額が最低賃金と連動する仕組みを設けるなど、持続可能な政策展開をお願いしたい。

3 部活動の地域移行化の現状と受け皿となる地域の文化・スポーツ人材の課題について

- (1) 部活動指導員の任用実績と今後の見通しについて伺いたい。
 - (2) 現在の部活動地域移行に対する評価と課題について伺いたい。
 - (3) 民間企業や総合型地域スポーツクラブと連携を深めることによるメリットと課題について伺いたい。
- (要望) 他局とも連携しながら、横浜から積極的な取組をお願いしたい。

4 学校開放について

- (1) 学校開放の実施状況について伺いたい。
- (2) 学校開放の利用実態の把握状況について伺いたい。
- (3) 学校開放の利用条件を明確にすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 学校開放のあり方検討を実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 学用品費の上限設定について

(1) 市立学校における学用品費の現状について伺いたい。

(2) 学用品費の負担軽減の取組に対する所感について伺いたい。

(要望) 家庭の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を推進する取組を引き続きお願いしたい。

6 不登校等を理由とする健康診断未検査者の対応について

(1) 未検査者の傾向について把握するなどしたうえで、健康診断の機会を保障する取組を一層進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 受診者数の割合を目標指標に据えるなどして、すぐに控える4月から、健康診断に備え、取組の効果検証をお願いしたい。

7 日教組の教研集会における教員の発表について

(1) 保護者に対してどのように説明するのか伺いたい。

1 医療的ケアのある児童生徒への取組について

（１）肢体不自由特別支援学校における通学支援の取組状況について伺いたい。

（２）肢体不自由特別支援学校における通学支援の課題について伺いたい。

（３）肢体不自由特別支援学校における児童生徒の保護者付添い解消の取組状況について伺いたい。

（意見）学校現場において、教員ではできない医療的ケアが必要になった際、保護者が行う必要があるため、付き添いが必要という課題は、当事者だけが抱えるものではなく、全ての人に知ってもらう必要がある。

（４）宿泊学習における付添い解消に向けた考え方について伺いたい。

（要望）宿泊学習における付添い解消に向けたモデル的実践の取組にかかる経費については教育委員会事務局が負担するよう要望する。

（５）訪問籍の児童生徒への付添い解消に向けた考え方について伺いたい。

（６）医療的ケア体制の質の向上に向けた取組について伺いたい。

（意見）医療的ケア児の支援の取組は、子供たちの命にかかわることなので、一日も早く充実させてもらいたい。

2 特別支援学校におけるICTの活用について

（１）東俣野特別支援学校でのICTを活用した教育への評価について伺いたい。

（２）アクセシビリティ機能の活用状況について伺いたい。

（３）特別支援学校でのテクノロジー活用による豊かな学びを実践するために、学校や教員が積極的にアップルのプログラムに参画を促すことが重要と考えるがどうかと考えるが、見解を伺いたい。

（４）学校間の活用格差解消に向けた取組について伺いたい。

1 給食食材による事故防止への取組について

- (1) 福岡県での事故を受けた本市の対応について伺いたい。
- (2) 窒息事故が起きる可能性がある食材のこれまでの対応と今後の対策について伺いたい。
- (3) 事故を防ぐためには食べる側だけでなく献立を作る側の工夫も必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 今回の窒息事故の原因となったうずらの卵は、子供たちにとっては人気の食材と聞いている。危ないからと言って単純に提供しなければよいというものではなく、安全に安心して食べることができるような工夫と対策をお願いしたい。
- (4) 子供たちが急いで食べなければならない状況を作らないことが重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) ゆとりをもって給食時間を取れるように学校としての対応をお願いしたい。また、万が一にでも詰まらせることがあっても、応急処置や講習、訓練等の充実も併せてお願いしたい。
- (5) 給食食材による事故防止に向けた決意について伺いたい。
- (要望) 児童、保護者だけでなく、給食に携わるすべての人が、今回のような事故によって悲しむことがないように、鋭意取り組んでいただくことを要望する。

2 中学校給食における教室までの配膳方法について

- (1) 令和8年度からの配膳室からクラス前までの運搬方法について伺いたい。
- (2) 令和7年度末の中学校でのエレベーター整備見込みについて伺いたい。
- (3) 現在整備しているエレベーターが給食配膳にも使えるスペックを備えているのか伺いたい。
- (4) 配膳環境の整備に当たっては、学校ごとの施設状況に合わせて個別に対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 喫食時間が準備時間にとられないよう、エレベーターの設置及びクラス前

配膳がスムーズにできるよう対応をお願いしたい。また、学校間及び学年間での差異ができるだけ生じないように対応をお願いしたい。

3 万騎が原小学校での木造校舎の実現と今後について

(1) 木造校舎としたことにより期待される効果について伺いたい。

(意見) 地域の方にも開放して木造の良さを味わっていただきたいと思う。

(2) 木造校舎の維持管理上の留意点について伺いたい。

(3) 今後の市内小中学校への展開について伺いたい。

(意見) 鉄筋コンクリートの無機質な校舎に比べて、木造校舎は子供たちにとってより愛着の持てる学び舎となるのではないかと思う。市内の各所に木造校舎が実現することを期待する。

4 横浜市学力・学習状況調査と学習支援システムについて

(1) I R T型横浜市学力・学習状況調査の成果について伺いたい。

(2) 横浜市学力・学習状況調査のC B T化の目的と課題について伺いたい。

(3) 学習支援システムを構築することでできるようになることについて伺いたい。

(要望) 新たなシステムを導入することが教員の負担にならないよう、効率的で効果的な運用を要望する。

9 大 山 しょうじ 委員 (大 山)

1 過大規模校対策の取組について

(1) 義務教育人口推計と実数値に差が生じた理由について伺いたい。

(2) 来年度行う義務教育人口推計の検証方法のこれまでとの違いについて伺いたい。

(3) 過大規模校対策の今後の取組について伺いたい。

(要望) 安定した学校運営が行えるよう、特に児童数の多さに応じた人員配置、具体的には副校長サポートの配置や、栄養職員の複数配置を要望する。